

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.58 2024年7月15日発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891

E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp

URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>

発行責任者 石本伸二

第47回県労福協定時総会 ～福祉はひとつ～

6月20日(木)新潟東映ホテルにおいて、県労福協第47回定時総会が開催され、会員団体・役職員の86名が参加しました。理事長挨拶の要旨。

「令和6年能登半島地震」発生から半年、元旦早々「まさか」という思いもありましたが、時・場所を選ばず起こりうる自然の脅威と、そして、13年前に発生した東日本大震災、それ以降も日本列島を襲っている自然災害に対する、防災・減災の取り組みを忘れてはならないことを、強く感じさせられる一年の始まりとなりました。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、社会経済活動が正常化に向かい、また、バブル崩壊後、

20年以上も続いたデフレの経験によって定着した、物価や賃金が上がりにくいことを前提とした考え方や慣行から、ようやく脱出傾向となっています。

しかし、取り巻く環境は、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が長期化するとともに、昨年10月にイスラエルとパレスチナ・ガザ地区での紛争が発生し、世界的に政治的・軍事的緊張が高まっています。また、国内に目を向ければ、春闘でこれまでない賃上げを勝ち取ってはいるものの、原材料価格の上昇などによる物価高騰・社会保障費の値上げと、そして円安により市民生活は困窮しています。

第213回通常国会は、6月23日会期末を迎えます。150日間「政治とカネ」の問題をはじめ、子ども子育て支援もその詳細を見れば、なかなか腑に落ちない点もあり、目先に騙されてはいけない法案が多々通ってしまいました。キックバックという裏カネを懐に入れ、それにかかる税金はいったどこへ。悪いことをしてもその仕事を続けられる国会議員は何なのか？憤りを感じています！

新潟県労福協は、12会員団体、県内10カ所の地区労福協とともに、「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会」をめざしています。主要であるライフサポートセンター事業を柱に、行政をはじめ、さまざまな団体とのネットワークを強化しつつ生活



2006年度から役員を務めた齋藤副理事長退任挨拶

上の悩みや課題を抱えた人たちに對する支援事業を一体となつてすすめています。労福協2030年ビジョンは、「経済成長は人間の幸せのためにあり、手段であつて目的ではない」ことを改めて認識し、経済・社会・環境の調和やそのための諸課題の解決に向けて統合的なアプローチをめざすSDGsの達成に向けて、私たちも役割の一端を担い行動しています。

本日の総会を契機に、引き続き、政策や制度の改善を求める社会運動と、労働者自主福祉運動を車の両輪として、「福祉はひとつ」の理念の下、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現をはかってまいります。

今総会は役員改選期ではございませんが、退任される齋藤副理事長に、この場を借り感謝を申し上げます。「長きにわたり新潟県労福協運動をけん引していただき、ありがとうございます。今後とも、新たな立場でご指導をお願いいたします。本当にありがとうございます。」

総会では、2023年度の事業報告、2024年度事業計画、2024年度収支予算報告を行い、事業報告の補足意見として、高見代議員(NPO法人フードバンクにいがた)から、「中間支援組織としてのNPO法人フードバンクにいがたとしての役割を終え解散手続きを行っている。しかしながら利用者の経済的困窮な状態が続いている。新潟県フードバンク連絡協議会に引き続きご支援をお願いしたい。」との協力要請がありました。

事業計画への補強意見として川原代議員(労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団北陸信越事業本部)から2023年度の地区労福協活動において、「医師中村哲」の映画上映会の開催および労働者協同組合の学習会を開催していただいた事への謝意があり、新しく立ち上げた新潟県で2例目となる労働者協同組合の事業「ごまのたね」の説明と今後の支援の要請がありました。

審議議案としての第1号議案「2023年度の決算報告ならびに監査報告に関する件」、第2号議案「定款の変更に関

する件」、第3号議案「役員交代に関する件」については、全て満場一致で承認されました。

【退任役員】(敬称略)

副理事長 齋藤 敏明 労働金庫

【新任役員】

理事 桑原 典子 連合新潟

特別講演会

【身寄りなし問題の現状と課題】

今回の講演は身寄りなし問題研究会代表の須貝秀昭氏にお願いしました。

看護師・社会福祉士・保護司などの資格を持ち、地域包括支援センターで高齢



者対応を中心に仕事をされてきた須貝さんいわく、身寄りなしとは「家族・親族がおらず、または、いても疎遠である、遠方にいる、関係性の問題等のために家族・親族からの支援が受けられない方」だとのこと。そういう人は、施設の入所ができない。アパートの契約ができない。手術ができない。などの問題を抱えており、救急車で運ばれても受け入れを断られることもあるそうです。家族による支援から連帯保証人や身元引受人への移行が必要だとのこと。

身寄りなし問題の三大課題は「金銭管理」「医療決定」「死後対応」であり、その解決のためには、行政を巻き込んだ支援のあり方の検討が必要。今後おひとりさまを許せる地域共生社会の実現に向けて活動を進めて行くとの決意が述べられました。

全国を歩いて縦断して身寄りなし問題を訴えたり、相談やお手伝いをするおじさまレンタルを行ったり、アパート契約ができない人の一時入居場所を用意したり、戦隊もののヒーローのコスチュームを作ったり、とにかく様々なことにチャレンジするアクティブな姿に、圧倒されるとともに、身寄りなし問題への対策の必要性を実感したためになる講演会でした。

なお、須貝氏の講演内容は、新潟県労福協TVで、YouTubeにアップしましたので、ぜひご視聴願います。



2024年度 全国研究集会 in OKINAWA

「Open up the future」
子どもたちの未来のために 地域の挑戦

6月7日(金)、中央労福協主催の2024年度全国研究集会が沖縄県那覇市那覇文化芸術劇場ナハートにおいて、ハイブリッド形式で、開催されました。(新潟県から5名参加)

自然環境、スポーツ、音楽、文化芸術、フードサービス、子育て支援など、さまざまなアプローチから地域の子どもたちと関わり、「楽しさ」を追求しつつ子どもたちの「居場所」づくりの役割を担っているNPO、民間企業からゲストを招き、トーク



セッションが行われました。

経済的な困窮や貧困は子どもたちに大きな影響を及ぼし、そこへの支援は将来的には社会の大きな財産となる。困っている人や特に子どもは自分で声を上げることが難しい。周りからのアプローチや助けてと言える社会が求められている。

労福協はそういう社会の実現に向けたネットワークづくりやつながりを今後も作っていくとの方向性が確認されました。

なお、来年度は、中部ブロックの富山の開催予定となっています。

集会の後半では、地元の子どもたちがジャズ演奏を行い、見事な演奏に会場は大いに盛り上がりしました。

東部ブロック労福協
第15期福祉リーダー塾

6月11日(火)～12日(水)に、労福協運動の新たな創造をめざし、東部ブロック労福協第15期福祉リーダー塾が、静岡県三島市で開催されました。新潟県労福協からは、戸根正人氏、

小室千代子氏(連合新潟)、高津享氏(労働金庫)、遠藤太毅氏(こくみん共済coop)、牧野茂夫理事長(労福協)の5名が参加しました。



第37回チャリティゴルフ大会

「連合新潟災害救援カンパ」に寄付!!

5月15日(水)、県労福協主催による第37回チャリティゴルフ大会が「フォレストカントリー倶楽部」で開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、78名が参加し、実力をいかんなく発揮する方、練習不足で大たたきをする方など、それぞれにプレーを楽しみながら交流を深め合うことができました。今年も開催ルールを前半9ホールによるハンディ戦とし、終了後の表彰式は行わず、18ホール終了時に個別で表彰を行う形態で開催しました。

参加者の厚意により集まったチャリティ金156,000円は、「連合新潟災害救援カンパ」に寄付しました。参加者の皆様のご協力にあためて感謝申し上げます。



【東コース優勝：嘉瀬 祥太氏】

● 大会の上位入賞者 ●

東コース優勝者	嘉瀬 祥太	(新潟地協)
西コース優勝者	岡田 雅彦	(新潟県生協連)
東アウトバスグロ	今井 誠	(一新法律事務所)
東インバスグロ	藤井 瑞穂	(情報労連)
西アウトバスグロ	小林 俊夫	(連合新潟)
西インバスグロ	山下 浩之	(コープデリにいがた)



【チャリティー金の寄付】

第95回新潟県中央メーデー

「連帯の力で平和と人権を守り、誰もが安心して暮らせる新たなステージへ！」
 「被災地の復旧・復興に向けてみんなで支えあい、助け合おう！」
 県統一テーマ「震災からの復興と、すべての働く仲間の賃上げを実現しよう」

4月27日(土) 新潟市中央区・万代島多目的広場において県中央メーデーが1,200人の参加で開催されました。

連合新潟の小林実行委員長は、「メーデーは「労働者の団結・主張の場」「働く仲間の祭典」である。年次有給休暇や時間外労働などの法律の改正はされてきたが、生活は苦しくなる一方で株価は最高値を更新したと言っても実感

はない。人手不足や人口減少を止めるために、誰もが安心して子どもを産み育て暮らせる社会を取り戻そう。春闘は昨年を上回る高い水準となっているが、企業規模間や雇用形態間、男女間等での格差は広がっている。引き続き処遇改善に取り組んで行く。分断から連帯の社会、支え合い助け合いの社会、多様性を認めあえる社会、自由で平和な社会をめざして行動を起こしていこ

消費生活ネットワーク新潟

第7回通常総会



6月15日(土) 新潟市勤労福祉会館において、NPO法人消費生活ネットワーク新潟第7回通常総会が、開催されました。

酒井副理事長から、「今年度も適格消費者団体としての基本的役割を着実に果たしながら、公正な社会の実現に向けて活動を進めてまいりたい。申し入れなどの成果も上がっており、回答も早くなっているが、認知度のアップも必要。」との、挨拶がありました。

う。」と呼びかけました。

集会後には、デモ行進を新潟駅前まで実施し「すべての職場に労働組合をつくるぞ!」「誰もが幸せになれる人間らしい生活を実現するぞ!」などと声を上げ、雇用確保や格差是正をアピールしました。



提案された議案、①2023年度活動報告、②2023年度収支決算および会計監査報告、③2024年度活動計画(案)、④2024年度予算(案)、⑤役員の選出、について、全て満場一致で承認されました。

なお、県労福協からは、理事に石本伸二(再任)、監事に佐藤淳(再任)が選任されました。

総会終了後、「何故減らない?訪問販売・通信販売の消費者トラブル!」その課題と解決策を考える」とのテーマで弁護士の手嶋徳彦氏による記念講演会が行われました。

新潟県労働金庫

第72回通常総会

6月25日(火) ANAクラウンプラザホテル新潟にて、新潟県労働金庫第72回通常総会が開催されました。

総会では、齋藤理事長より、全ての会員とのつながりを一層強めることで労金運動の基盤をより強化するとともに、勤労者一人ひとりに寄り添った「ろうきんらしい」相談・提案活動の実践を通じて、ろうきんの役割を発揮し、事業を継続させるために必要な収益確保につとめるとの決意が述べられました。

議事では報告事項・決議事項の全てが確認・承認されました。

今総会で齋藤理事長は退任され、後任には山崎雅彦氏(電機連合)が選任されました。



オンライン署名にご協力をお願いします

賛同・署名方法

すべての人が平等に高等教育を受けるためには、みんなが不公平感を抱くことなく、高等教育費の負担軽減を実感できる、政策実現のための取り組みが必要です。

高等教育費の段階的な無償化や奨学金返済制度を改善する政策実現のために、あなたも一歩を踏み出し、ぜひ私たちのアクションにご参加ください!



団体賛同・
個人署名は
こちらから



私とあなたができること 高等教育費の負担軽減を求めよう

呼びかけ人

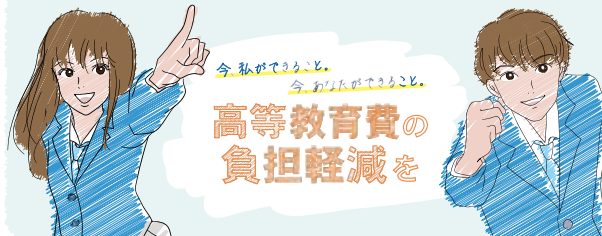
- 大内 裕和 奨学金問題対策全国会議共同代表／武蔵大学教授
- 岩重 佳治 奨学金問題対策全国会議事務局長／弁護士
- 芳野 友子 労働者福祉中央協議会会長／日本労働組合総連合会会長

呼びかけ人全体は
こちら▼



※2024年5月20日現在

高等教育費や奨学金返済の 負担軽減のため、公的負担の 大幅拡充を求めます!



団体賛同・個人署名で示そう

高等教育費の 負担軽減を



授業料を半額に

すべての学生を対象に、大学、短大、高等専門学校(4年・5年)、専門学校の授業料を現在の半額にしてください。



大学等修学支援制度の拡充を

大学等修学支援制度の対象を多子世帯や理工農系に限定することなく年収600万円まで拡大するとともに、授業料減免額も拡大してください。



奨学金返済の負担軽減を

奨学金返済に係る負担の軽減に向けて、貸与型を有利子から無利子へ、所得に応じた無理のない返済制度や返済困難な場合の救済制度を拡充してください。



未来のために 行動しよう!

下記 QRコードをスキャンして
詳細をご覧ください
あなたの参加が力になります



賛同・署名方法につきましては
裏面をご覧ください

提出先

内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣

新潟ろうきん夢咲Clubは 〈ろうきん〉に加入していない事業所にお勤めの方が 〈ろうきん〉を利用する際にご加入いただくメンバーズクラブです!

ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。※入会金や会費は必要ありません

ご加入 いただける方

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、
以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- 2 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

おもな活動と 会員サービス

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク(弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど)

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
https://www.n-yume.jp 新潟ろうきん夢咲Club 検索

2024年度

新潟県日韓親善協会総会



5月21日(火)新潟東映ホテルにおいて、新潟県日韓親善協会「2024年度定期総会・講演会・交流会」を69名の参加で開催しました。片桐会長は「民間交流が今こそどんなに大事なのかをしみじみ感じる。遠い親戚より近くの他人、今後も交流を深めていくことが求められている。」と今後も友好親善を盛り上げていく決意を述べました。総会では、提案議案全てを満場一致で採択しました。

総会後の講演会では、駐新潟大韓民国総領事館、呉栄煥総領事から、「地域が主導する韓日関係」と題し、地域が主導する草の根交流と協力こそが韓日関係を前進させる原動力であることなどが語られました。

新潟県日口親善協会

第40回 新潟県日口親善協会総会



脱炭素から考える豊かな未来

日韓脱炭素シンポジウム、開催

6月28日(金)、新潟日報メディアシップにおいて、駐新潟大韓民国総領事館と新潟日報社が主催する「日韓・韓日脱炭素シンポジウム」が約100人を集め開催されました。

国境を問わず発生する異常気象、高温・大雨・大雪は韓国でも日常的に発

生し「2050温室ガス排出量実質ゼロ」は両国の必達目標として協力が呼びかけられています。

今回は洋上風力発電に関わる両国の専門家や事業者による講演や報告とシンポジウムが行われました。村上・胎内沖洋上風力発電の報告なども行われ、具体的な事業概要、地域共生策や経済波及効果などが説明され、大変勉強になりました。

欧州では発展しつつある風力発電もアジアはまだ遅れを取っており、開発を加速させるとともに、両国が連携することが望ましいとの意見が出されていました。ぜひ、実現してほしいものです。

6月12日(水)新潟東映ホテルにおいて、新潟県日口親善協会「第40回総会・講演会・交流会」を46名の参加で開催しました。

総会では、提案議案全てを満場一致で採択しました。

総会後の講演会では、池田嘉郎氏(東京大学教授)から、「ロシア史と海—新潟から考える」と題し、陸との関係で考えることの多いロシア史を越境、交流、貿易などで海との関係の視点からの説明が行われました。



(公財) 新潟ろうきん福祉財団
「県民・勤労者の福祉・文化向上に関する事業」

ろうきんチャリティ公演

太鼓芸能集団 鼓童 トーク&ライブ

開催日：2024年9月19日(木) 開場 17:30 開演 18:30

開催場所：加茂文化会館 大ホール

入場整理券：お一人様(小学生以上) 1,000円

●事前に入場整理券の購入が必要となります(先着順)。

<入場整理券のご購入・お問い合わせ>

・新潟ろうきん加茂支店、三条支店、燕支店 ・加茂文化会館

料金の一部は県央エリア内の福祉団体等へ寄付いたします。

ローン見直しで
ヤッター大作戦

今こそ(ろうきん)で
借換えだべえ〜

期間中に他金融機関ローンの借換えを用途として
各種ローン(30万円以上)を新規ご契約いただいた方の中から

合計 **370名**様に当たる!

抽選・
当選発表

●抽選は前期・後期の2回に分けて行います。前期は4月～7月の契約者を対象に8月に、後期は8月～12月の契約者を対象に2025年1月に行います。当選本数は、前期はA賞4本、B賞70本、C賞90本、後期はA賞6本、B賞90本、C賞110本とさせていただきます。●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。●前期分の賞品発送は8月～9月、後期分の賞品発送は2025年1月～2月の予定です。●証書貸付につきましては、返済年数2年以上の契約が対象となります。●自己預金担保ローンは対象外とさせていただきます。●マイプラン等の当座貸越商品は、期間中に借換えを用途として新規契約し30万円以上の借入実績がある契約が対象となります。●キャンペーンについて詳しくは(ろうきん)へお問い合わせください。

A賞
ダイソン
Dyson Pure
Hot+Cool Link™
空気清浄機能付
ファンヒーター
HP03 IS
10名様

B賞
北陸復興支援カタログギフト
(さくらコース) [エコタイプ(封筒型)]
160名様
※画像はイメージです。
※商品ラインアップに変更が生じる場合も
ございますのでご了承ください。

C賞
新潟ろうきん×ヤッターマン
オリジナル
QUOカード
1,000円分
200名様
※賞品の画像は
イメージであり、
実際のものと
異なる場合が
あります。

詳しくはこちら





©タツノコプロ

新潟ろうきん

新潟ろうきん 検索

地区労福協からの たより



長岡地区

【地域の福祉向上を！
労福協活動の存在を高めよう！】

長岡地区労働者福祉協議会は、6月21日「2024年度総会」を行い、2023年度の総括、2024年度活動方針を協議し、提案通り確認しました。松嶋副会長の開会あいさつに続き、矢島会長から「日ごろ各団体の皆さんから地域の福祉向上に向け、ご努力いただき感謝します。政治の劣化が続く市民目線の政治が必要です。自立可能な社会をめざし、今年も新潟県ライフサポートセンター事業、ながおかワーク&ライフセミナー事業を行います。協力をお願いします。」との挨拶があり、続いて佐藤新潟県労福協事務局長から「昨日、新潟県労福協総会で新年度活動方針を確認した。県内でも先駆的な長岡地区の活動に期待する」と

の挨拶の後、2023年度活動報告、会計決算、会計監査報告そして2024年度活動計画、予算を協議しました。

今後とも長岡地区労福協は、新潟県ライフサポート事業、ながおかワーク&ライフセミナー活動を中心に、「福祉はひとつ」の理念のもと人々の幸せと豊かさを求めて、安心安全な社会実現に努力することを確認しました。

総会終了後、各構成団体から活動報告を受けました。

【NPO法人

女のスペース・ながおか】

結成から、25年目を迎えた。年間1,500件の相談がある。今年、念願のステップハウスを運営した。10月から3回「私を大切にするため」の支援者養成・支援者支援講座」を開設する。多くの方に参加いただきたい。ながおかワーク&ライフセ

ナーは、2月に開催する方向で調整したい。

【フードバンクながおか】

支援するお米や野菜、食糧が不足している状況だ。皆さんからのご支援をお願いしたい。これから子供たちの休みに入ると、食べるものが不足する。市の協力で、各地区のコミュニティセンターに置き場所を設置するので、多くの方のご協力をお願いしたい。

【労働金庫】

預金額が昨年落ち込んだ。投資ブームの影響だと思う。若い方が投資にはまり融資相談に来られるが、まずは生活の安定、そのうえで預金を進めている。高校生や中学生に「金融教育」を実施している。

【こくみん共済coop中越支所】

①マイカー共済事業の見積もりで横断旗を配布し、交通安全プロジェクトを実施している。②子供の成長プロジェクトで、児童館などに縄跳びを配布している。③火災共済の見積もりで寄付を実施。能登半島地震災害に対し、県内4,500件のお見舞いしている。

【中越地域退職者連合】

高齢者が安心して暮らせるために、連合中越の退職者が集まってい

る団体です。長岡市・見附市に対し、ひきこもり対策、認知症対策など要請活動を実施し、成果がある。今は、マイナンバー保険証の廃止に向け、議会で意見要請活動を行っている。など、各団体の報告後、邊見副会長の閉会挨拶で終了しました。

今年度は、10月から毎月1回、計5回の「ながおかワーク&ライフセミナー」実施をめざし、これから具体化をすすめます。

今年度も、皆様のご協力をお願いします。

佐渡地区

6月27日(木) 地区労福協第13回総会を開催しました。当日は新潟県



労福協江口事務局長を来賓に迎え、県労福協が取り組んでいる各種活動の報告など挨拶を受けました。総会では、2023年度の活動報告及び2024年度の活動計画を審議しました。

5月25日(土) 今年度最初の活動として総勢26人で海岸清掃を行いました。この日は海岸付近にはごみは少なく、早く終われるかと作業したところ、海から風で舞い上がったごみが道路を挟んだ排水溝や土手にたくさん埋もれており、結局いつもと同じくらいのごみの回収量でした。作業後には、昨秋行ったワーク&セミナー「佐渡市のごみの現状」資料を参加者に配布し、日常生活を含め「ごみ」への関心を深めました。

小千谷地区

【第95回小千谷地区

メーデーについて】

小千谷地区メーデーは4月28日(日)に盛大に行われました。

連合推薦の長谷川有理、駒井和彦両市議にもご参加いただき、スローガン・メーデー宣言を確認し団結を誓い合いました。

式典の中では、フードバンク活動にて食品や募金の寄付を、プラカー



小千谷地区メーデー「団結ガンバロー」

ド審査では8点の作品による審査と表彰が行われ、抽選会では会場全体で当選番号の発表に耳を傾け、この日一番の盛り上がりを見せました。式典終了後のデモ行進は、参加者全員(約200名)で小千谷市内中心部を約40分に渡り行進し、春の強い日差しの中汗をかきながらのデモ行進となりました。大変意義あるメーデーとなりましたこと、関係者の皆さまに感謝申し上げます。

おかげさまで70周年
新住まいる共済
全国共済・全国共済会連合会



もしもの**準備**は
できていますか？

新潟・福島豪雨から20年
できることから実践していきましょう。



みんなで
被災地応援
プロジェクト

当会では、住まいる共済のお見積もり1件につき、**100円**を被災地で復旧支援活動を行うボランティア(支援)団体に寄付する取り組みをスタートしました。

※寄付は、当会が自主的に実施するものであり、お見積もりをいただいた方にご負担いただくものではありません。



詳しくはこちら

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

新潟推進本部
(新潟県総合生活協同組合)

こくみん共済 NEWS
coop

1524B001



労働相談
ホットライ

✓CHECK!

出勤／退勤時刻や残業時間はきちんと記録されていますか？
テレワークでも、労働時間管理が必要です

自分の職場の36協定を把握していますか？
残業には「36協定」を結んだうえで、上司の指示が必要です

有給休暇はしっかり取得できていますか？
パートやアルバイトでも取得できます

TRY!

つながらない権利を大切にしましょう
終業後は、仕事に関する連絡を控えましょう

あなたも私も休める職場をつくりましょう
あなたの一言が、誰かの長時間労働に繋がっているかもしれません





連合新潟
(日本労働組合総連合会新潟県連合会)

労働時間の適正化で
豊かな生活時間を



コープデリにいがた

「あなたらしさ」が選べる生協、コープデリです。

コープデリは、関東・信越1都7県で335万以上の世帯にご登録いただいている、日本最大の生協です。
たくさんの宅配サービスや生協があるなかで支持されている理由はきっと、それぞれの“ぴったり”が見つかるから。
原料へのこだわり、価格帯、家族の人数、etc… どんなニーズもおまかせください。

コープデリなら、つかうほどじぶんらしくなれるあれこれが
選べる、見つかる。



コープデリが大切にしている 6 つのこと



					
豊かで楽しい食卓へ。	安心して家族へ。	声をかたちに。	つながり、育む。	「食べる」を伝える。	未来につなげる。
ふだんのくらしに必要な商品を提供し、毎日のくらしに貢献します。	提供する全ての食品の安全性の確保に取り組めます。	組合員さんの声を大切にしたいコープ商品を開発・提供します。	生産者と組合員さんをつなぐ「産直」に取り組めます。	食育「たべる、たいせつ」を通じて食による健康なくらしを提案していきます。	環境にやさしい事業とくらしを目指します。

ご加入手続きは簡単！

今すぐ! Webでお申し込み

コープデリ 加入 検索



こちらからもアクセスできます

調査・研究事業報告

2024年度連載／第2回

持続可能な社会と働き方を考える

―「縮小社会」に求められるものとは―

公益社団法人 新潟県自治研究センター

【消滅可能性自治体と1・20】

今年4月24日、民間組織「人口戦略会議」が報告書を公表し、自治体をはじめ関係者の間で話題となっている。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の「日本の地域別将来推計人口」を基にして、全国1729の自治体と地域を大きく4分類・9カテゴリー化し分析したものである。そのなかでも問題とされているのは、2020年からの30年間で20〜39歳の若年女性人口が半減する市区町村「消滅可能性自治体」であり、744自治体が名指しで指摘されている。その一方で、出生率が低いにもかかわらず、他地域からの人口流入が多い「ブラックホール型自治体」には、東京都内の16区を含む25自治体が該当するとした。

「消滅可能性」については、すでに2014年のいわゆる「増田レポート」でも示され、「地方創生」政策の根拠ともなってきたのであるが、最大の問題とされた人口減少対策も東京一極集

中も、解決の方向にあるどころか、深刻さを増しているのが現状である。

さらに、今年6月、2023年の合計特殊出生率は過去最低の1・20であったことが厚労省から発表された。かつて、2005年に1・26となった合計特殊出生率は「1・26ショック」といわれ、少子化対策の強化が叫ばれるきっかけにもなったが、やはり「地方創生」同様、この間の総括が求められる状況にあるといつてよい。

そこで今回は、少子・超高齢、人口減少社会のなかで、求められる価値観の変化やあるべき社会像について述べたものとして、種田和義氏の「2025年は超下級高齢化社会への入口―成長から縮小へ求められる価値観の転換―」と梶口敏行氏の「日本における人口構成の変化に見る問題と課題―人口減少を踏まえた将来の社会構造の考察―」を紹介したい。

【まだ「入り口」という現実】

65歳以上の人口が21%を超えると「超高齢社会」と定義されるが、総務省の「人口推計」によれば、日本の高齢化率は6月1日現在（概算値）で29・3%である。種田氏は「超下級高齢化社会」と呼び、団塊の世代がすべて後期高齢者になる2025年はその「入口」であるとする。本当の困難はこれから到来するのである。

種田・梶口両氏とも、社人研などのデータを基に、新潟県人口の歴史的な推移を図表・グラフ化しながら論じており、年少・生産年齢・老年人口それぞれの課題に触れている。社会保障のあり方、ロストジェネレーション世代との「世代間対立」など、投げかけられる問題は実に多い。そのなかでも、今回取り上げたいのは、生産年齢人口の減少による労働力不足である。

種田氏は、農業とともに中小・零細企業が新潟県経済を支えてきたことを挙げ、その担い手たる団塊の世代のリタイアと、その子ども世代の団塊ジュニアが高齢化入りするのが2040年である点を示し、「彼らに代わる人材が圧倒的に少ない」問題を指摘する。

これに関連して、梶口氏の論稿では、近隣5県などの人口推計から、群馬県、富山県、長野県などに比べて新潟県の減少率が大きいことを示し、自治体間の格差を明らかにしている。梶口氏は「就労先・就職先の多さの違い」をそ

の原因として挙げているほか、人口減少が生産・消費水準、成長力の低下へとつながり、「縮小スパイラル」に陥る危険性を指摘する。さらに、「労働力不足を補うために長時間労働が更に深刻化し、ワーク・ライフ・バランスも改善されず、少子化が更に進行していく」という悪循環に陥る恐れも生じかねない」とする。

これらの指摘は、「働くことを軸とする安心社会」をめざす際に、解決すべき大きな課題でもあろう。

【みるべき夢を考える】

社会全体が縮小の時代に入ることに ついて、種田氏は、「経済成長を抛り所として拡大してきた日本が、成熟期に入ってきたともいえる」とし、「成熟期に向けて過渡期的なものと捉えていいのではないか」とする。そして、その際に求められるのは、高度経済成長期の「夢」でなく、「成長」から「縮小」への価値観の転換であると強調する。

「みるべき夢」の議論と考えれば、少し前向きな気持ちになれる気もするものである。移住者獲得に重点を置く自治体施策の検証も含め、これからの地域のあり方や働き方を考えるうえで有益な論稿となっており、ご一読いただければ幸いである。

（文責・新潟県自治研究センター

齋藤 喜和）

今後の日程

7月	17日(水)	下越地区労福協総会 (新発田市イクネス新発田) 県PS聖籠町支援調整会議(聖籠町)
	18日(木)	東部ブロック243回幹事会・事業 団体責任者会議(静岡県静岡市) 上越地区労福協総会 (上越市レインボーセンター)
	22日(月)	県PS田上町支援調整会議(田上町)
	23日(火)	県PS阿賀町支援調整会議(阿賀町)
	24日(水)	糸魚川地区労福協ゴルフコンペ (糸魚川CC) 夢咲Club総会(We b)
	25日(木)	新潟市PS支援調整会議 (勤労福祉会館)
	29日(月)	奨学金ネットワーク第3回総会 (勤労福祉会館)
8月	30日(火)	新潟県総合生協第70回通常総代会 およびこくみん共済coop新潟推 進本部第7回組合員代表者会議 (ANAクラウンプラザホテル)
	2日(金)	「新潟自治」創刊100号記念講演 会および祝賀会(新潟東映ホテル)
	5日(月)	県PS湯沢町支援調整会議 (南魚沼振興局)
	9日(金)	県労福協「平和活動・統一行動日」
	19日(月)	県PS出雲崎町支援調整会議 (出雲崎町)
	22日(木)	新潟市PS支援調整会議 (勤労福祉会館)
	23日(金)	第148回理事会(勤労福祉会館) 第12回監事会議(勤労福祉会館)
	27日(火)	県PS刈羽村支援調整会議 (刈羽村)
	28日(水)	県PS津南町支援調整会議 (津南町)
9月	21日(土)～25日(水)	国際交流事業韓国訪問(代表团5名)
	26日(木)	新潟市PS支援調整会議 (勤労福祉会館)

編集後記

❖ 2024年の世界幸福度ランキングで日本は51位だそうです。「GDP」「社会的支援」「人生の主観的満足度」などが低いらしい。さらには「寛容さ」という項目も低いという。日本人は優しくないのだろうか。確かに、労福協で仕事をしていると、生活に困窮している人は増えていと思う。不安定雇用者やひとり親家庭の増加、春闘ではいい結果も聞こえてくるが、実質賃金が減少していることも事実である。

❖ 沖縄で行われた全国研究集会で聞いた話では、生活困窮している家庭の子どもはアンケートで「がんばれば報われるとは思わない」「自分は価値のあ

る人間だとは思わない」との答えをする率がとても高いそうだ。残念な話である。あらためて、幸せと豊かさを求める労福協運動の必要性を痛感した。

❖ 子どもや若者の未来を作ることは、将来的に社会が活性化するという成果として跳ね返ってくる。その一つの手段として大学等の学費を減額したり、奨学金制度を改善しようというオンライン署名を労福協は取り組んでいる最中である。ご協力をお願いしたい。(5ページ参照)

❖ 夏も本番となり、原爆の日や終戦記念日が近づいてきた。平和への祈りを8月9日に1分間の黙祷として今年も皆さんとともに捧げたい。

(新光町の疾風怒涛)



被爆 ハマユウ
広島原爆を生き延びたヒロシマ平和資料館の多言語インフォメーションボードに、広島市と長崎市を平和のシンボルとして並べられている。被爆地、国内外に名刺されている。

one minute
silence

新潟県労働者福祉協議会は、平和を希求する取り組みとして8月の原爆犠牲者追悼ならびに平和祈念の願いを込めて1分間の黙祷を呼びかけます。

統一
指定日

2024.8.9(金) 始業時または昼食時

原爆死没者への追悼と世界恒久平和を祈り、
1分間の黙祷をさげましょう。

統一行動日における開催が難しい団体・職場においては、可能な限り8月中に実施してください。

8月6日、9日は広島市及び長崎市に原爆が投下されて79年目の「原爆の日」にあたります

主催／新潟県労働者福祉協議会